

「みやぎ超!! 元気まつり2019」で熱中症対策の啓発等を行いました。

塩と暮らしを結ぶ運動では、8月3日（土）から5日（月）まで宮城県仙台市宮城野区の「夢メッセみやぎ」で開催された「みやぎ超!! 元気まつり2019」（主催：株式会社仙台放送／みやぎ産業交流センター）において、熱中症対策の啓発及び運動の周知活動を行いました。

このイベントは、東日本大災の被害を受けた宮城県に「元気を創出したい!」という想いを込めて2014年にスタートした「みやぎ元気まつり」が、2004年より地元で親しまれてきた「仙台放送まつり」と合体、リニューアルして開催されたもので、今回で2回目となります。

会場の夢メッセみやぎ本館（展示棟・屋外展示場）には、全国の人気飲食店が集めたほか、ステージには多くのお笑い芸人、ミュージシャン、アイドルが出演しました。また、体験型のブースも多数出展されました。

当地で事業を行っている株式会社東日本ソルト（全国塩元売協会会員）は、このイベントに塩と暮らしを結ぶ運動の塩飴やウチワ、また運動の冊子『塩と暮らしのあれこれBOOK』やクリアファイルを提供しました。これらは、会場入口で、イベントの運営スタッフにより配布いただいたほか、塩と暮らしを結ぶ運動としても、配布に協力しました。

時節柄、また多くの来場があったために会場は熱気にあふれ、お配りした塩飴やウチワは来場の皆様に好評をいただきました。また主催者側からも、来場者に熱中症への注意喚起をしたことを、大変評価いただきました。

3日間で、イベント全体では50,750名の来場がありました。そんな中、塩と暮らしを結ぶ運動では、約1,000名の方に、熱中症対策の啓発とともに、熱中症対策に限らない塩と暮らしの関わりについても、お伝えすることができました。

